

「滝川市の再生可能エネルギーの取り組みについて」



平成25年9月
滝川市経済部産業振興課

○目 次

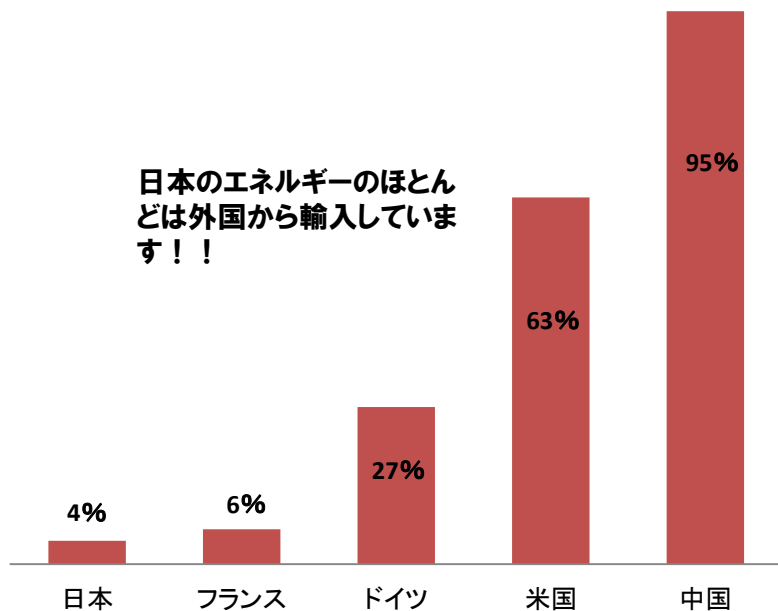
- 1. 日本の再生可能エネルギーの現状について**
- 2. 再生可能エネルギーの固定価格買取制度とは**
- 3. 滝川市のこれまでの取り組み**
 - ①太陽光発電(メガソーラー)**
 - ②風力発電**
 - ③藻類バイオ**

1. 我が国のエネルギーの現状について

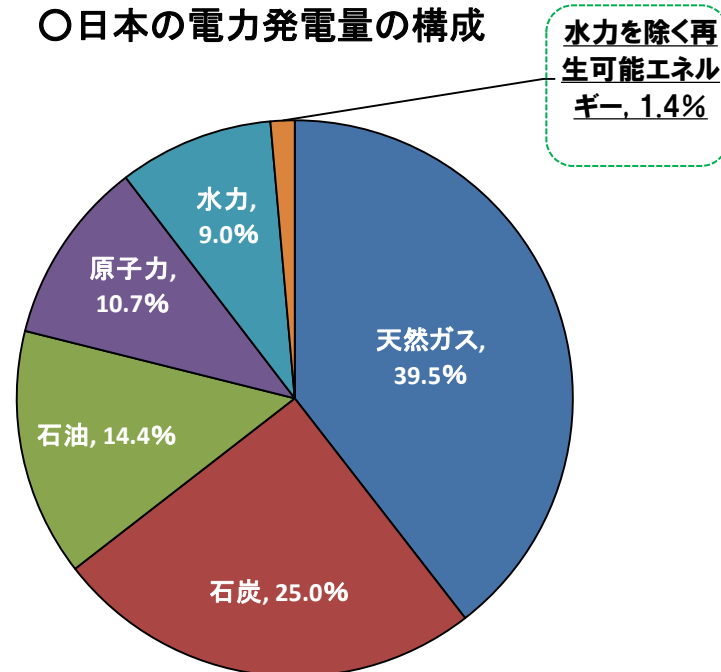
■世界のエネルギー需要が急速に増える一方で、日本のエネルギーの自給率は、中国、アメリカ、ドイツ、フランスと比較した場合、4%と最も低く、ほとんどを輸入に頼っています。

■日本の電力の発電量の構成をみると、天然ガス、石炭火力、石油火力で約8割を発電しており、そのほか、原子力発電が10.7%、水力が9.0%であり、水力を除く再生可能エネルギーは1.4%にとどまっています。

○エネルギー自給率比べ



○日本の電力発電量の構成

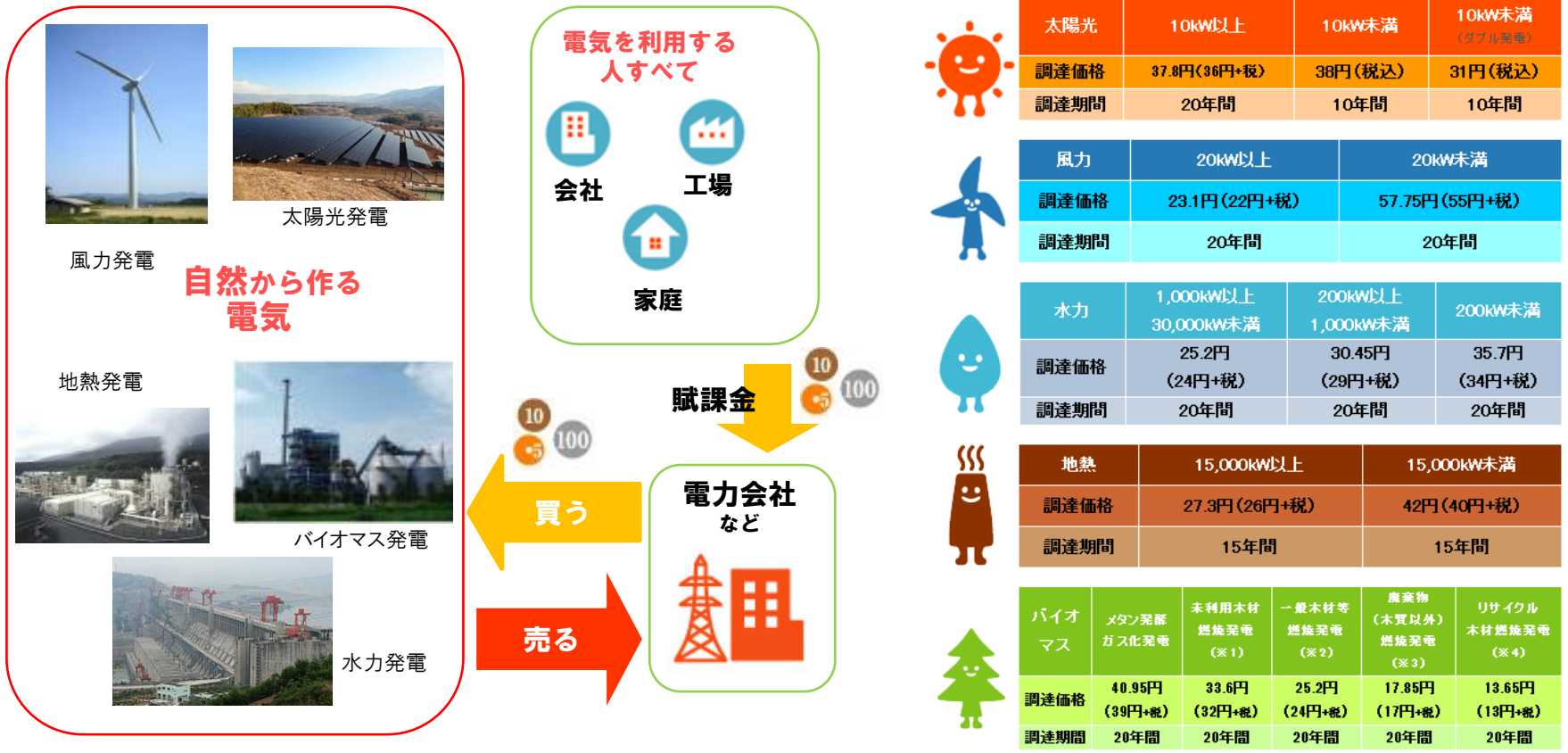


2. 再生可能エネルギーの固定価格買取制度とは

■「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)」は、再生可能エネルギーで発電された電力を、地域の電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度です。

■電力会社が買い取る費用を電気の利用者全員の皆様から等しく賦課金という形で集めます。

○再生可能エネルギー固定価格買取制度



3. 滝川市の取り組み

■平成15年に「環境都市宣言」をし、翌年には環境基本条例を制定。平成18年には菜種油のBDF化実証実験などを行ってきました。

■平成23年には「滝川市環境基本計画・地域行動計画」を改訂しており、環境に対する取り組みを継続して行っています。

滝川市の環境への主な取り組み

年	出来事
---	-----

平成15年	・「環境都市宣言」 ・リサイククリーンの運転開始
-------	-----------------------------

平成16年	・「滝川市環境基本条例」を制定
-------	-----------------

平成18年	・「滝川市環境基本計画・地域行動計画」を策定 ・菜種油のBDF化実証利用事業
-------	---

平成19年	・天ぷら油燃料化事業
-------	------------

平成23年	「滝川市環境基本計画 ・地域行動計画」【改訂版】を策定
-------	--------------------------------

平成24年	「滝川市総合計画策定」
-------	-------------



リサイククリーンの全景



たきかわの菜の花畑

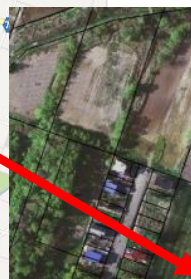


ナタネBDFで走るトラクター

3. 滝川市の取り組み①-1太陽光発電(メガソーラー)

■ 滝川市滝の川町西5丁目及び6丁目の市営住宅跡地を対象用地とし、公募の結果、東証一部上場の電子部品商社「伯東株式会社」に事業者を決定しました。

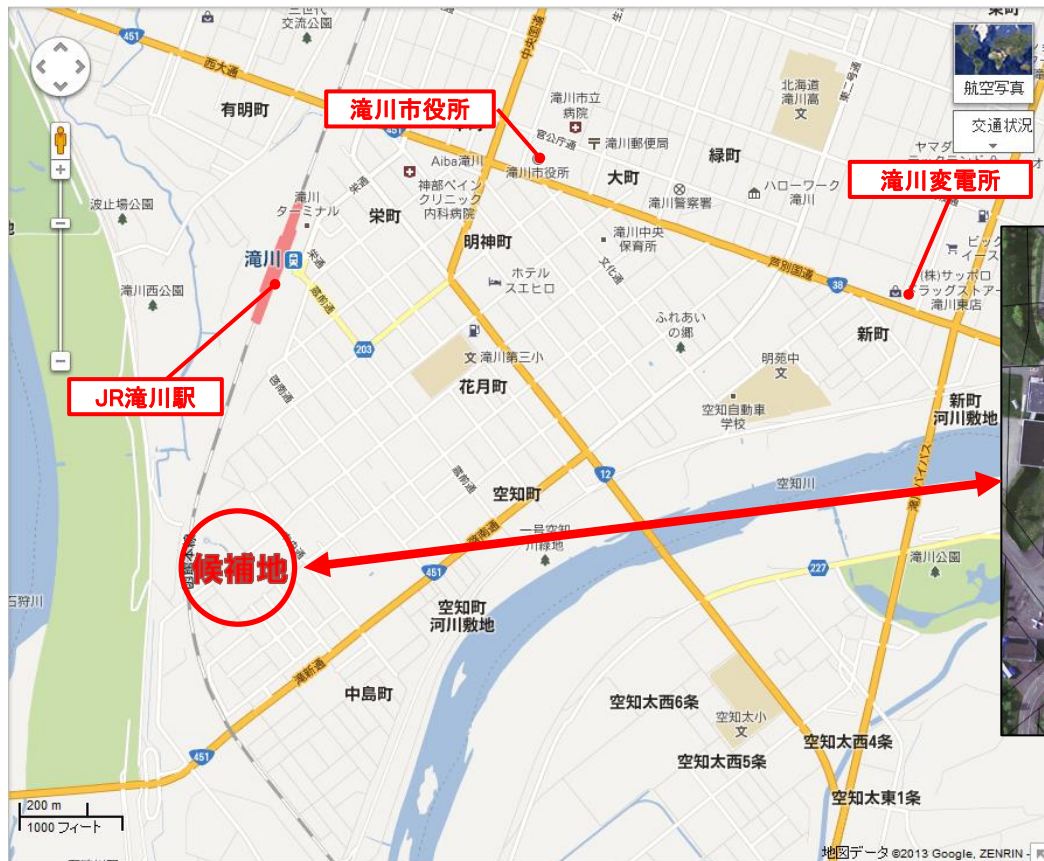
■ 約3.9ヘクタールの用地に1,750kw分のパネルを設置し、発電及び売電を行うものであり、平成25年5月より設置工事を開始し、平成25年8月23日より、売電を開始しています。



3. 滝川市の取り組み①-2太陽光発電(メガソーラー)

■ 滝川市中島町2丁目にあるニュータウンせせらぎ未分譲地を対象用地として平成25年7月1日よりメガソーラーの事業者公募を行いました。その結果、東証一部上場企業である、株式会社JCUに事業者決定し、平成25年8月28日、協定を締結しました。

■ 工事着工は雪解けの状況を見ながら平成26年3月を予定しており、平成26年8月の発電開始を予定しています。



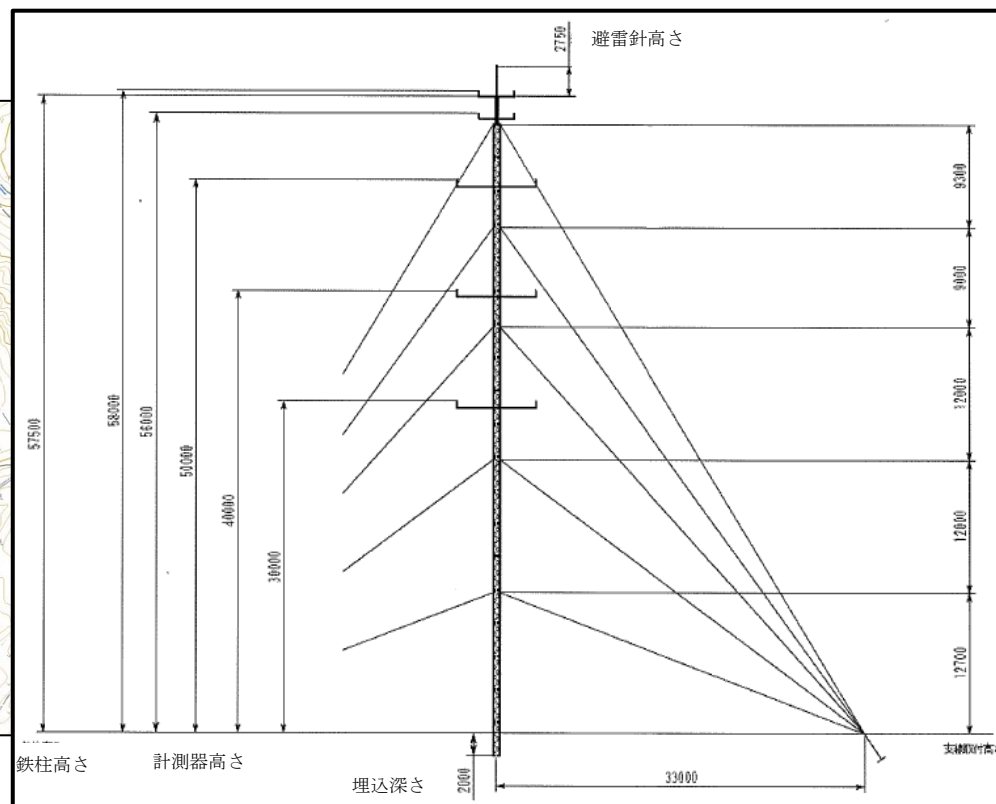
3. 滝川市の取り組み②風力発電

■市は風力発電の可能性を調査するため、丸加山以东を対象に平成25年7月16日より風力発電事前調査事業者を募集し、国内風力発電事業最大手の株式会社ユーラスエナジーホールディングスに事業者が決定しました。

■現在、平成25年10月からの調査開始を目標としており、調査の期間は1年間を想定しています。調査の結果、経済性の合う風況結果が得られた場合、風力発電開発のため開発協定を締結し、各種認可等の手続きを経て、実際の発電開始は平成33年の発電開始を想定しています。

○風況ポール立面図

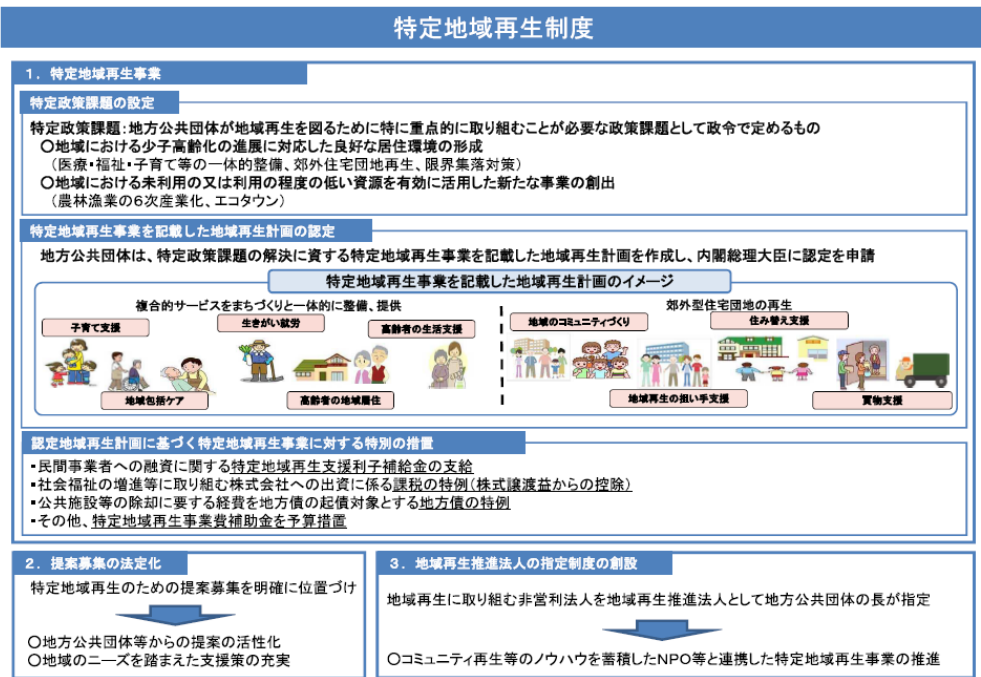
○風況ポール設置位置



3. 滝川市の取り組み③藻類バイオ

■内閣府が進める「平成24年度特定地域再生事業費補助金事業」に「再生可能エネルギーの導入による克雪型農業・農村再生計画策定事業」を応募し、採択となりました。

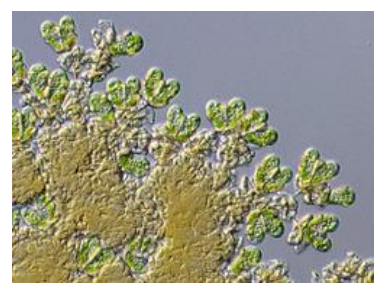
■今回の調査では道内大学とも連携し、先進的技術である藻から油を取り出す「藻類バイオマス」により、寒冷地での冬期のハウス栽培用熱源にすることなどを考えています。



- 《具体的な取り組み》
- 未利用エネルギー資源の利用可能量の把握
 - 積雪寒冷地に適した藻類バイオ培養方法の検討
 - 未利用資源を活用した植物工場の事業化



オーランチオキトリウム



ボトリオコッカス